

平成28年度の北信地域障がい福祉自立支援協議会に向けて(案)

部会名	目的	部会長	構成機関(下線は本年度新規参加)	事務局	27年度の取り組み・成果	28年度に向けて
雇用支援 ネットワーク部会	障がい者の企業への就職と職場定着をより一層進めていくための、関係機関による連携協力体制の構築を目指すことを目的とする。	北信地方事務所 商工観光課 高野課長	北信地方事務所商工観光課・ふつくら工房ふるさと・飯山公共職業安定所 長野地方事務所商工観光課・北信保健福祉事務所福祉課 農村木島平株式会社・飯山養護学校・NPO法人ぱーむぼいす まいさぼ中野・まいさぼ飯山・中野市びあワーク 山ノ内町ももの木・木島平村つくしの家 相談支援事業所	宮崎 坂東 湯本 小湊	●部会(年3回) ●3つの委員会活動と1つのプロジェクト活動 ①就業生活をサポートするための関係機関との連携及び体制確認 ②各委員会が把握する課題を共有し、取り組む方向性の確認 ＜成果＞ ①障害者就職面接会(北信圏域版)の開催 H.28.3.3 ②地域の療育コーディネーターとの連携による職場体験サポート ③地域で働く障がい者の紹介(ローカル紙)	●部会(年3回)と委員会活動、プロジェクト活動 圏域内の就労継続事業(福祉サービス事業)や企業にもご参加頂き、障がい者雇用促進のための体制強化を目指す。 ①企業に向けた支援体制紹介のわかりやすい紹介 ②個別課題の抽出と検討 ③地域で働く障がい者の紹介(ローカル紙)
本人中心部会	障がいのある方がこの地域で安心して自発的に生活できるよう、ニーズに沿ったよりよいサービスの提供ができる地域をつくるために活動する。当事者が積極的に活躍できる場を広げ、当事者主体の活動を後方支援していく。	支援センター 丸山常務理事	つくしの家・ももの木・マッシュルーム・びあワーク・りんごの木・竹馬 常岩の里ながみね・のぞみの郷高社・ふつくら工房ふるさと 中野デイホームこころ・サービスセンターりんく・すみれの家 北信保健福祉事務所福祉課・相談支援事業所	市村 徳竹	●3つの委員会活動 ①計画相談に繋がっていない方を中心に、想いの受け止め活動の実施。 ②当事者向けの事業所見学体験ツアーを4回実施。 ③部会活動の中から見えてきた課題に対して、3回の研修会を実施。 ＜成果＞当事者の会「みんなでたのしもう会」の立ち上げ。	●3つの委員会活動 ①ニーズ聴きたい・つなげたい 想いの受け止め活動の継続 ②いって来てやって委員会 当事者向けの事業所等の見学・体験ツアーの実施 ③みんなで楽しもう会 当事者活動の後方支援
サービス向上部会	地域の支援者の支援力の底上げを目的に、ご本人のニーズに基づいて支援していることが確認できるような研修を行う。障がい理解や適切な支援ができる人を地域に増やしていくことを狙いとす。	山ノ内町社協 鈴木局長	北信保健福祉事務所福祉課 中野市社会福祉協議会・飯山市社会福祉協議会・山ノ内町社会福祉協議会 木島平村社会福祉協議会・野沢温泉村社会福祉協議会・栄村社会福祉協議会 (有)ゆりかご・NPO法人くらぶDO・NPO法人ここから いこいの里・中野キッズはぐみ・ふつくら工房ふるさと 青りんご・希望・サービスセンターりんく・やまとセンター・相談支援事業所	大口 河野 徳竹	●部会(年3回)…各研修会の企画・振り返りや、情報共有等 ●研修会(年4回) 部会員で各研修会の担当者を決め、研修会の企画を行った。 ＜成果＞現場の悩みや困り感等を話し、また現場ですぐに活かせる物を持ち帰って頂けるように、グループワークを毎回入れた研修会を実施。好評を得ている。	●部会(年3回) 情報共有や、研修受講後の現場の変化の検証方法について検討等 ●研修会(年4回) 現場の悩みや困り感を等をテーマにし、現場で活かせるものを持ち帰って頂けるような研修会を企画・実施する。
精神地域移行・ 地域定着部会	精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう入院中から医療・保健・福祉等で連携して支援が行えるよう体制を構築していく。更に啓発活動等を行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。	北信保健福祉事務所 健康づくり支援課 安藤係長	北信保健福祉事務所福祉課・健康づくり支援課 中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 北信総合病院・佐藤病院・メンタルケアみゆき・びあワーク・つくしの家 飯山赤十字病院 NPO法人ここから・中野市デイホームこころ・飯山市地域活動支援センター サービスセンターりんく・ふつくら工房ふるさと・相談支援事業所	大口 門脇 徳竹	●部会(年3回)…各PJ活動の集約・情報共有 ●プロジェクト活動(年4回) ①地域移行PJ…事例検討・長期入院者の面談等 ②地域定着PJ…資源マップ作成・家族研修会の実施等 ＜成果＞地域移行PJの活動から、4名の方が退院。事例検討には権利擁護部会の方にも参加していただき、権利擁護の視点で事例を共有することができた。	●部会(年3回) プロジェクト活動の集約・情報共有、地域課題の検討等 ●プロジェクト活動(年4回) ①地域移行PJ…長期入院者との面談、事例検討、高齢分野との連携等 ②地域定着PJ…資源マップの作成・活用、家族研修会の実施、仲間としゃべろう会虹の継続等
そだちネットワーク 部会	<～27> 障がいのある子どもさんを育てる家族の気持ちに寄り添いながら、障害児を支える地域の関係機関の連携体制を構築していくことを目的とする。  <H28> 「障害のある」「障害児」という表記方法、その言葉の持つ意味、それに伴う目的について深めていくため再度検討している	飯山養護学校 高山校長	飯山養護学校・北信保健福祉事務所健康づくり支援課・福祉課 中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 中野市教育委員会・飯山市教育委員会・山ノ内町教育委員会・木島平村教育委員会 野沢温泉村教育委員会・飯山学園・いちご学園・ゆきんこ園・相談支援事業所	大口 坂爪 高橋	●部会(年5回) ・テーマに基づいた研修やグループディスカッション (親支援・合理的配慮・関係機関との横の連携について事例検討等) ●重心・医ケア児についての課題検討 ●発達障害支援フォーラム実行委員 ●飯山養護学校特別支援教育連携協議会との連携 ＜成果＞ 重心・医ケアワーキンググループの発足	●そだちネットワーク部会の目的を再検討し、部会員で共有することから進めていく。 ●内容については、グループディスカッションで出された部会員からの意見を元に検討。 ●重心・医ケアWG…医療型短期入所について等の課題について検討。 ●発達障がい支援フォーラム実行委員会…7月9日開催に向けての取り組みを継続。
権利擁護部会	障がい者、高齢者等の権利をどう支えていくかについて、幅広い観点から、関係機関の連携協力体制を構築していく中で、誰もが住みやすい街づくりを目指す。	山ノ内町社協 山口次長	中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 中野市社会福祉協議会・飯山市社会福祉協議会・山ノ内町社会福祉協議会 木島平村社会福祉協議会・野沢温泉村社会福祉協議会 栄村社会福祉協議会・ひまわり長野・リーガルサポートながの ばあとなあながの北信支部 北信圏域権利擁護センター・サービスセンターりんく 北信保健福祉事務所福祉課・相談支援事業所	大口 徳竹	●部会(年6回) 権利擁護センターにも部員として加わってもらい、下記の3つのPJでの活動・情報共有を行った。 ①広報・啓発PJ ②ニーズ収集PJ ③センター連携PJ ＜成果＞H26年度からの取り組みもあり、今年度は地域の研修会等に8回招かれ、啓発活動を行う事ができ、権利擁護についての啓発が行えた。また、権利擁護センターとの情報共有や連携を強めることができた。	●3つのPJで活動を行い、PJ間の連携を強めていく。 ①啓発PJ…権利擁護の考えを支援者、家族を含め地域の一般の方にも考えてもらえるように取り組んでいく。 ②ニーズ収集PJ…権利擁護推進にあたって、現状把握していく中で課題を明確化し、啓発PJと連携しながら更なる権利擁護の推進を図っていく。 ③権利擁護センター連携PJ…権利擁護センターと連携を図りながら、地域の課題を抽出し、各PJと連携していく。
幹事会	北信圏域の障がい者福祉の現状と課題を踏まえながら、地域に必要とされる取り組みや施策の実現に向けて、さまざまな検討協議を行う。また、協議会が円滑かつ効果的に機能するための検討協議を行う事を目的とする。	中野市福祉課 月岡課長	中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村 北信保健福祉事務所福祉課・相談支援事業所※必要に応じて部会長の参加  ●課題検討ワーキング ●ケアプラン研究会 ●地域資源開発プロジェクト	丸山 大口 徳竹	●幹事会(年5回) 相談支援専門員の活動報告を受け、地域の課題について検討。 ●市町村課題検討WG(年11回) ・サービス等利用計画の内容の精査・適切なプランの視点を学習。 ・圏域内の相談支援専門員との情報共有・意見交換会の実施。 ●地域生活支援拠点事業実施に向けたコア会議の実施。  ＜成果＞6月、北信圏域権利擁護センター設置。	●幹事会(年5回) 相談支援専門員や各部会等からの報告を受け、地域の課題についての検討を継続していく。 ●市町村課題検討WG(年12回) ・ケアプラン研究会の継続 ・障害者差別解消支援地域協議会についての検討 ●地域生活支援拠点事業検討会議 ●地域資源開発プロジェクト
協議会	北信圏域の障がい者福祉にかかわる関係機関の連携と協力を構築し、地域の障がい者福祉の更なる向上を目指すことを目的とする。	中野市福祉課 月岡課長	別紙構成機関	丸山 大口 徳竹	●協議会(年3回)  ＜成果＞ ・各部会に部会運営委員会を設置したことで、各部会が活性化。 ・第2回より一般公開とし、地域啓発の一端となった。	●協議会(年3回) ・第4期障害福祉計画の進捗状況の確認 ・協議会の一般公開、ホームページの活用等地域に向けた啓発  ＜テーマ＞地域生活支援拠点等の体制整備に向けて